**職　務　経　歴　書 （サンプル）**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成28年8月26日現在

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　○○ ○○

**■職務要約**

入社後自社ネットワークの運用監視に携わりながらネットワークとＵＮＩＸの基礎を学び、ＣＣＮＡとＳＣＳＡを取得しました。その後システム運用部に配属、企業にてネットワーク管理者として常駐しました。2つの企業に常駐し、2社目の企業においてはネットワーク／サーバの設計／構築、運用／保守など、一連の流れを経験しました。

その後、国立大学のシステムクラウド化に提案段階から参加。AWSを使ったインフラの設計・構築を手がけ、現在はその運用リーダーとして安定したシステムの運用保持に努めています。

**※これまでに培われたご経験の要訳を、3～5行程度でご記入ください。**

**企業担当者の目に最初に触れる部分になりますので、アピールをしたい経験を中心にまとめてください。**

**■活かせる経験・知識・技術**

‐AWSでのインスタンス構築（EC2）、データベース構築（RDS）

‐Linux系サーバ構築スキル(Ubuntu、CentOS)

**特にアピールしたいことを、最初にあげておくと、効果的です。**

**ただし、この部分では「アピールすることは、3～6個程度までにとどめる」のがポイントです。たくさん書きすぎると、かえって読み手の印象に残りにくくなりますから、ご注意ください。**

‐Linux系サーバ運用経験(Web・Mail・DNS・ファイルサーバなど)

‐ネットワークの構築・運用経験（Cisco）

**■職務経歴**

●●●●株式会社（2009年6月～現在）

事業内容：ネットワークの構築/運用　資本金：●●万円　売上高：●●億円　従業員数：●●名

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 期間 | 担当プロジェクト | 担当業務 | 環境/ツール | メンバー/役割 |
| 2009年6月  ～  2011年3月 | 企業向けネットワーク  運用監視  ※東証二部上場メーカーの社内ネットワーク運用監視を担当しました。 | [担当業務]  ネットワーク／サーバ運用監視、障害対応  PBX構築補助、インフラ工事対応  [ネットワーク規模]  サーバ数○台、クライアント数約○台 | Solaris  Cisco  IPPathfinder | メンバー数：○名  メンバー |
|
|
| 2011年4月  ～  2014年10月 | 企業向け基幹ネットワーク構築／運用  ※大手食品メーカーの新工場への移転にあたり、ネットワーク／サーバの設計から構築、運用までをサブリーダーとして担当しました。 | [担当業務]  ネットワーク／サーバ設計・構築、運用設計、機材導入、運用手順書の作成、障害対応、売り上げ管理  [ネットワーク規模]  サーバ数○台（仮想サーバ○台）  クライアント数約○台  [備考]  この期間には、以下のような短期プロジェクトも、  いくつか並行して担当しました。  -大学向けIDC移設提案  -大学向けセキュリティソフト導入 | Linux（CentOS）  VMWare  CA Spectrum  Cisco,Apresia | メンバー数：○名  サブリーダー |
|
|
| 2014年11月  ～  現在 | 国立大学向けネットワーク設計／構築／運用など  ※オンプレミスからクラウド環境（AWS）への移行にあたり、提案段階から参加。移行後は運用リーダーとして運用・監視を担当しています。 | [担当業務]  ネットワーク設計、AWS上でのネットワーク／サーバ構築、運用設計、運用監視、障害対応、インスタンスの拡張対応など  [ネットワーク規模（学内合計）]  仮想サーバ数約○台  クライアント数約○台 | Linux（Ubuntu）  AWS（EC2、RDS）  MySQL | メンバー数：○名  （構築時○名）  リーダー |
|
|

**■実績**

* 大手食品メーカーの工場移転

工場移転に伴い、ネットワーク（サーバ数○台、クライアント数約○台）、PBXの移設を担当するチームに参加。

サブリーダーとして機材の納品管理を担当、緻密なスケジュール管理を心がけ、余裕をもって納品を完了することに成功しました。

その結果、お客様からより信頼いただけるようになり、追加で仕事の発注をいただきました。その業績貢献が評価され、チームは

社内でベストチーム賞を受賞しました。

* 国立大学のAWS移行

ビッグデータ関連の研究が増えたことによるDBサーバ負荷増大と、年々増加する運用コストの問題の解決のため、

オンプレミスのデータセンターからAWSへの移行を提案しました。

運用コストについては、オフピーク時のインスタンス停止やスポットインスタンスの導入などの工夫を凝らすことで、

最終的にオンプレミスでの運用時に比べて、約○％のコスト削減を実現しました。

**■習得技術**

[OS] Linux（CentOS、Ubuntu）、UNIX（Solaris10）

[クラウド関連] AWS（EC2、EB2、RDS、VPC、EMRなど／構築・運用可能）

[サーバソフト] Apache、WebLogic、Bind、Sendmail、Postfix

[仮想化] VMWare（構築・運用可能）

[運用監視ツール] OpenView、Nagios

**技術的なスキルについて、このように箇条書きでまとめておくと、読み手の理解を促しやすくなります。**

[ネットワーク機器] Cisco、Apresia、Alteon

[その他] IPPathfinder（IP対応PBXシステム）

**資格名称は、正式名称で記載しましょう。**

**取得資格が多い場合は、仕事に関連する資格を抜粋して記載してください。**

**ベンダー資格は、更新していない場合にも記載しておきましょう。**

**■資格**

CCNA（xxxx年x月）

SCSA（xxxx年x月）

AWS認定：ソリューションアーキテクト－アソシエイト（xxxx年x月）

AWS認定：ソリューションアーキテクト－プロフェッショナル（xxxx年x月）

AWS認定：デベロッパー－アソシエイト（xxxx年x月）

AWS認定：システムオペレーションアドミニストレーター－アソシエイト（xxxx年x月）

**■自己ＰＲ**

あまり、限定せずに簡潔に！

ネットワーク・サーバの設計・構築・運用まで、一連の経験を積んできました。この知見を活かし、全体のバランスを考えて、

運用面に配慮したインフラの設計を心がけています。

ここ数年注力しているのが、クラウド環境化におけるシステム構築です。具体的にはAWSを使用したインフラ構築技術に

力を入れています。最初は独学で取り組んでいましたが、きちんと基礎を固めるべくAWS認定の取得を進めてきました。

現在、DevOpsエンジニア－プロフェッショナルの取得を目指し、勉強にいそしんでいます。

今後は、AWSの知見を活かすとともに、近年重要性が増しているネットワークセキュリティの経験も積んでいきたいと

考えています。

**自己PRでは、「仕事をする上で心がけていること」「取り組んでいること」「今後取り組みたいこと」などについてアピールしておくと効果的です。**

以上